

きゅうしゅう

No.20

編集・発行:九州防衛局 総務部
福岡市博多区博多駅東2丁目10-7
福岡第2合同庁舎内 TEL092-483-8811

目次

- 1 海上自衛隊鹿屋航空基地紹介
- 2 自治体紹介～鹿児島県鹿屋市～
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション



哨戒機 P-3C



救難ヘリコプター UH-60J



かのやばら園(鹿児島県鹿屋市)



● 鹿屋市
鹿屋航空基地



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



1 海上自衛隊鹿屋航空基地紹介

第1航空群司令挨拶



第1航空群司令 杉本 孝幸 海将補

九州防衛局広報「きゅうりゅう」をご愛読の皆様、こんにちは。海上自衛隊第1航空群司令の杉本です。当群の所在する鹿屋航空基地は、豊かな自然の恵みと悠久の歴史を持つ鹿児島県鹿屋市(大隅半島)に位置する海上自衛隊航空基地の一つです。

その所在する鹿屋市は、神武天皇の御父君と御母君の御陵である吾平山上陵や、日本最大級の規模を誇る「かのやばら園」等を有し、黒豚や黒毛和牛を中心とする畜産業は全国有数の質と産出額を誇っています。

当基地には、哨戒機P-3Cにより東シナ海を始めとするわが国周辺海域の防衛・警備・警戒監視任務等にあたる第1航空群、回転翼哨戒機SH-60K等により回転翼搭乗員の養成を行う第211教育航空隊、回転翼救難機UH-60Jにより航空救難や急患輸送を含む災害派遣任務にあたる第72航空隊鹿屋航空分遣隊、航空機の造修整備及び整備用器材の製作を行う第1航空修理隊等の部隊が所在しています。

特に、第1航空群の行う周辺海域の警戒監視任務は、昨今の情勢から益々重要となり、わが国の国益を守るための海上防衛の最前線基地として、周辺市民の皆様のご理解と御支援の下、24時間365日休むことなく活動を継続しています。

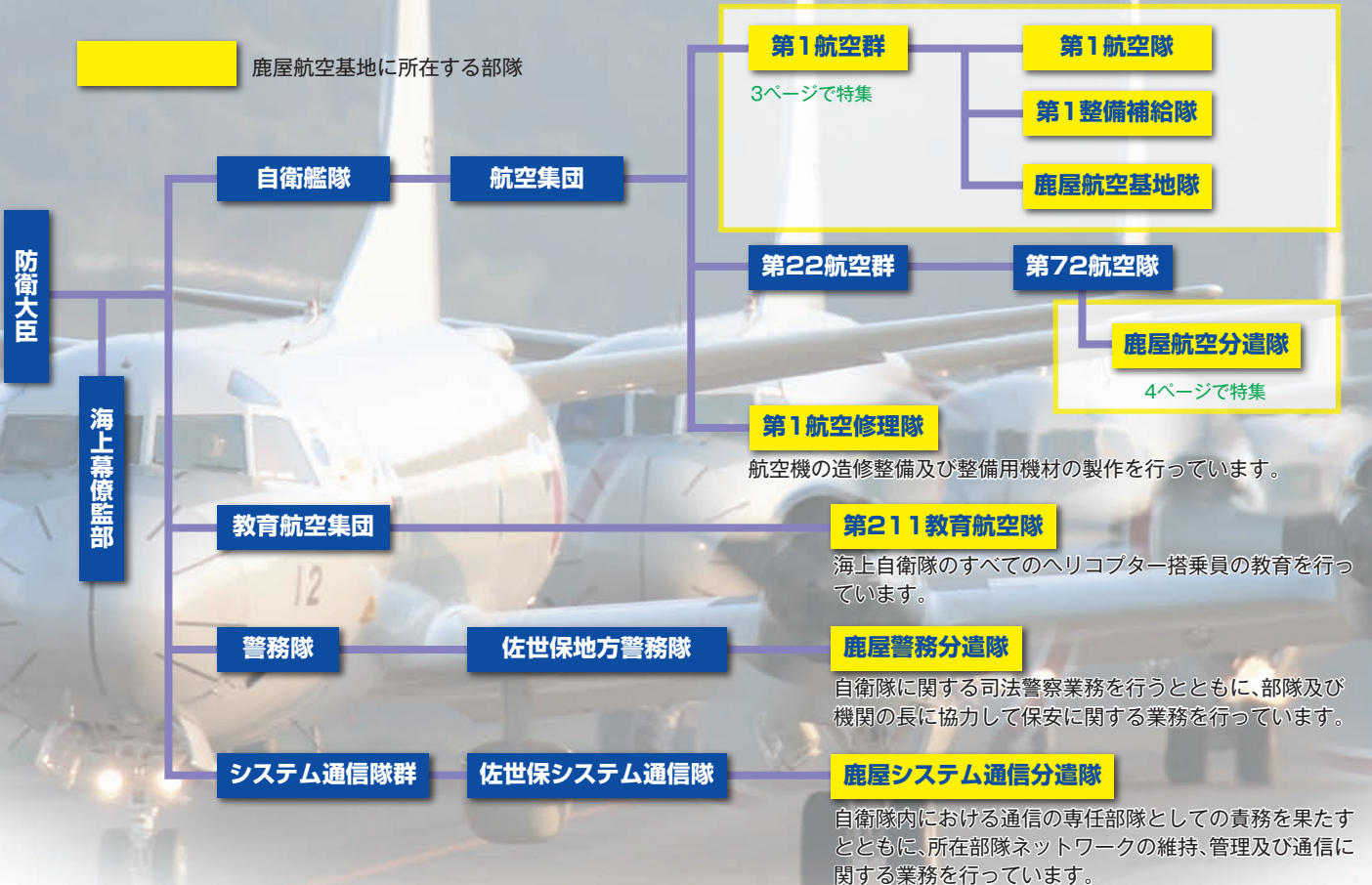
また、当基地には、昭和11年に海軍鹿屋航空隊として発足以来、現在の海上自衛隊鹿屋航空基地に至るまでの史料が豊富に展示されている、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館があります。先の大戦における特攻にまつわる遺書や零戦の実機等の展示物による過去の歴史、災害派遣や四方を海に囲まれたわが国の警戒監視等に対する自衛隊の活動の今……。これらを通じて、これからの未来の私たちの在るべき姿を考える機会になる、自衛隊においても最大規模の史料館ですので、是非一度、お越し頂きたいと思えます。

九州防衛局との連携の下、私たちは、これからも地域の方々とのつながりを大切にしながら、日夜任務に邁進いたします。



海上航空発祥の碑

所在部隊紹介



第1航空群

第1航空隊

～海上防衛の最前線を担う～



P-3Cを保有し、日本周辺海域の海上防衛を主任務とし、平時においては、警戒監視及び災害派遣等を行っています。

第1整備補給隊

～整備や補給のプロが集う技術集団～



航空機の発動機、電気計器、機体、電子、武器等の整備作業及び基地補給業務を行っています。

鹿屋航空基地隊

～様々なエキスパートが基地を支える～



基地全般の施設の管理、警備、給養及び航空機の管制業務を行っています。

哨戒機P-3C

任務

自衛隊が迅速に対応するためには、平素から領海・領空とその周辺の海域を常時警戒監視し、情報の収集、処理にあたるのが極めて重要であり、海上自衛隊は、1日1回を基準として、P-3Cにより、北海道から東シナ海を航行する船舶等を監視しています。

また、ソマリア沖・アデン湾における派遣海賊対処行動航空隊としてジブチを拠点として活躍しています。



アデン湾での海賊対処に従事しているP-3Cと護衛艦



■日本の領海について
地図で見てもお分かりのように、日本は国土そのものよりも海洋において広範囲な権利を有する国です。日本の国土は、世界60位、領海と排他的経済水域を合わせると世界6位の広さとなります。

平成24年10月25日、第1航空隊所属のP-3C(85号機)が、訓練飛行中、種子島沖において東日本大震災で流失した漁船を発見。



■第1航空群からの通報を受けて現場に到着した海保ヘリ

概要

機上から確認した結果、海難事故で遭難した船舶の可能性もあることから、直ちに当該船舶の周辺を捜索するとともに第1航空群司令部を通じて第十管区海上保安本部(以下「海保」という。)に通報。通報を受けた海保は、直ちにヘリ1機及び巡視船1隻を現場に派遣。

P-3Cは、現場に到着した海保ヘリに当該船舶の監視等を引き継ぎ鹿屋基地に帰投。海保の船舶調査結果によると、登録番号から約1年半前に発生した東日本大震災で流失した宮城県石巻市の漁船であることが判明。鹿児島県内では2例目。

この発見は、P-3Cのクルーが日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、「上空から米粒くらいしか見えなかった漂流漁船を見逃さなかった。」ことが功を奏したものです。

鹿屋航空分遣隊

鹿屋航空分遣隊は、平成20年3月に、大村航空基地（長崎県大村市）に輸送救難を任務とする部隊として発足した第72航空隊の分遣隊です。

UH-60J型救難機を装備し、遭難した航空機搭乗員の捜索及び救助のほか、陸上基地間及び洋上を航行する自衛艦への物品等の輸送を任務としています。

そのほかの任務として離島からの急患輸送などといった各種災害派遣にも24時間即応できる態勢を維持しており、陸海空自衛隊の中でも多くの災害派遣・救難任務に出動している部隊です。



海上捜索救難訓練等・急患搬送

災害派遣(急患搬送等実績)

(平成24年11月29日現在)

単位:人

島名	20年	21年	22年	23年	24年
硫黄島・黒島・竹島	5	1	3	3	0
種子島	22	10	10	13	7
屋久島	13	12	8	12	10
口之島・中之島	5	1	2	2	4
喜界島	1	0	0	0	0
上・下甌島	2	4	1	5	1
口永良部島	0	1	0	0	0
諏訪之瀬島・平島・悪石島	2	3	2	2	4
宝島・小宝島	3	1	0	1	0
奄美大島	15	4	7	9	8
徳之島	0	0	0	1	0
合計	68	37	33	48	34

昭和36年1月～延べ人員2,177人

救難ヘリ UH-60J による救難訓練など



海上における救難訓練



船舶への発着訓練



遭難者の救難訓練



山岳における捜索救難訓練

患者を救難ヘリで離島から本土へ搬送



救急車からUH-60Jへ搬入



UH-60Jによる搬送



広報・イベント情報

エアーメモリアルinかのや

4月下旬開催

毎年4月下旬、鹿屋基地を一般開放し、普段見ることの出来ない航空機やUH-60J救難機などの地上展示やP-3C哨戒機の編隊飛行や低空飛行などがあり、毎年会場は多くの観客で賑わいます。



華麗なるP-3Cの編隊飛行



迫力のあるP-3Cの低空飛行

ちびっ子ヤング大会

9月中旬開催

鹿屋基地内のグラウンドや体育館では小学生による白熱した試合が毎年繰り広げられます。

種目は、ソフトボール、サッカー、剣道、相撲、少女バレー。



白熱するソフトボール大会

隊内生活体験

夏休み実施

中高生を対象とした2泊3日の隊内生活体験で敬礼等の基本動作を学び、実際に隊員が働いている色々な職場などを体験します。



P-3C機内を見学する学生

▶ 鹿屋航空基地史料館



ご来館をお待ちしております。

鹿屋航空基地史料館には、帝國海軍及び海上自衛隊の航空に関わる歴史を保存、展示することを目的として、平成5年7月に開館しました。史料館正面玄関には、平山郁夫画伯「夕映桜島」を基にしたステンドグラス、1階には、海上自衛隊航空部隊の現状を展示し、2階には空の勇者としてその名を知られた「零戦」の復元機をはじめ、海軍創設期から大東亜戦争までの海軍の文献、写真、遺品及び特攻隊に関する写真、遺書等2,000点を展示し、国内はもとより、諸外国からも多数の来館を得ています。



■写真(上)館内2F(「零戦」復元機)

■館内2F(歴史資料の展示)

■写真(左)玄関ロビー(平山郁夫画伯「夕映桜島」ステンドグラス)

2 自治体紹介

鹿児島県 鹿屋市

百万本のばらに抱かれ、
癒される
「健康・交流都市かのや」



鹿屋市長
嶋田 芳博
(しまだ よしひろ)



鹿屋市は、本土最南端へと伸びる鹿児島県大隅半島のほぼ中央に位置し、錦江湾に面した美しい海岸線、壮大な高隈山系など豊かな自然に恵まれています。多くのオリンピック選手やプロスポーツ選手等を輩出している国立大学法人鹿屋体育大学や国立大隅青少年自然の家、県民健康プラザ等の健康・スポーツに関する機関・施設が存在しており、プロ野球選手やJリーガーをはじめ、多くのスポーツ選手が自主トレ等を行っています。

また、神武天皇の御父君と御母君の御陵である吾平山上陵をはじめとする多くの史跡や日本一を誇る「かのやばら園」、輝北天球館などの観光資源を有するとともに、黒豚や黒毛和牛を中心とする畜産業は全国有数の産出額を誇っており、日本の食糧供給基地としての役割も担っています。

鹿屋市は、海上自衛隊鹿屋航空基地の開設以来、「基地のまち」として市民と基地とが良好な関係を構築・維持してきており、平成6年からは、鹿屋市と鹿屋航空基地が協力して作り上げたイベントである「エア・メモリアルinかのや」を毎年春に開催し、世界でも鹿屋航空基地だけで見られない4機のP-3Cによる飛行展示などの航空ショーや航空機の体験搭乗、基地記念行事などに、県内外から多くの人々が訪れる一大イベントとなっています。

今後も、民間で組織する鹿屋市防衛協会等の協力をいただきながら、なお一層、地域と鹿屋航空基地の共存共栄に努め、これまで築き上げてきた良好な信頼関係のもとに、より良いまちづくりを進めてまいりたいと考えています。



- ① **かのやばら園**
霧島ヶ丘公園にある「かのやばら園」には、約8haの敷地に、日本国内はもとより、世界各国から集めた約50,000株のばらが植栽してあります。
毎年、春と秋には、「かのやばら祭り」が開催され、園内のガーデンステージを中心に繰り広げられる様々な催しは、大人から子どもまで幅広くお楽しみ頂けます。
- ② **輝北天球館**
桜島が望める高原にある輝北天球館は、合併前の旧輝北町が、平成3年から4期連続で「きれいな星空日本一」の認定を受けたことを記念して、平成7年に造られました。口径65cmカセグレン式反射望遠鏡をはじめとして、天体のビデオ映像、惑星や星雲などの写真展示等があります。
- ③ **串良平和公園**
第2次世界大戦時の「串良海軍航空隊」跡地で、公園内には、約1,000本の桜並木が整備されています。
また、毎年4月上旬には、公園内で「くしら桜まつり」が開催され、夜のライトアップやジョギング大会等のイベントで賑わいます。
- ④ **国立大学法人 鹿屋体育大学**
全国唯一の国立体育系単科大学として、昭和56年に開学しました。水泳や自転車競技をはじめ、陸上・サッカー等において、トップレベルの選手を輩出しています。
平成22年には、鹿屋市と連携協定を結び、地域産業の振興に向けた産学官連携の取組や、地域に開かれた大学づくりを推進しています。
- ⑤ **かのやグラウンド・ゴルフ場**
地形を活かした8つのセパレートコースとしては、日本最大級を誇る天然芝のグラウンド・ゴルフ場です。約8haの敷地に最大12コース96ホールの設定が可能で、平成20年の「ねんりんピック鹿児島」のグラウンドゴルフ会場としても利用されました。
- ⑥ **吾平山上陵**
全国でも珍しい岩屋の陵(塚墓)で、神武天皇の御父君と御母君の御陵(みはか)です。伊勢神宮に似ていることから「小伊勢」とも呼ばれ、初詣は、多くの参拝客で賑わいます。また、春は桜の名所としても知られています。

3 九州防衛局業務紹介

道路改修等補助事業

■ 道路改修等補助事業は、自衛隊等の車両の通行により生じる障害の防止・軽減や、防衛施設の設置・運用による周辺地域の住民生活や事業活動の障害の緩和に資するため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」（以下「法」という。）に基づき、道路や橋梁などの改修等の工事に係る費用の全部又は一部について、国が地方公共団体に対し補助している事業です。

平似田太ノ浦線（長崎県東彼杵町）

区分	道路改修等（法第8条）
防衛施設名	大野原演習場
補助事業名	平似田太ノ浦線
補助事業者名	東彼杵町長
事業内容 (構造・規模含)	3種4級 延長L=3,409m 幅員W=5.5m



改修前



改修後

■ 補助対象範囲 ■

■ 3条道路（法第3条）：補助率10／10

自衛隊等の戦車などの機甲車両や大型車両の頻繁な通行による障害が発生している場合に、次の工事を行います。

- 1) 戦車などの通行により道路が損傷した場合に、道路の改修や舗装補修を行っています。
- 2) 防衛施設への出入路となっている道路で、自衛隊等以外の大型車両が継続・反復して通行していない場合に、道路の拡幅などの改修を行っています。

■ 8条道路（法第8条）：補助率 改良・舗装7／10、舗装補修6／10

防衛施設の設置・運用による周辺地域の住民の生活や事業活動の障害の緩和に資すると認められる場合に、次の工事を行います。

- 1) 自衛隊等車両の防衛施設への出入りや、防衛施設間の移動などに利用する道路において、離合困難や路面損傷などの障害が認められる場合に、道路の改修や舗装補修を行っています。
- 2) 自衛隊等の航空機が頻繁に離着陸する飛行場周辺で、航空機事故などが発生した際における避難・消防救難活動を円滑に行うため、緊急避難道路（レスキュー道路）の整備を行っています。

鹿屋航空基地における事例～鹿屋市「上田崎線（かみたさきせん）」～

■ 上田崎線は、平成17年度から平成24年度にかけて、総延長1,280m、幅員6.0mの緊急避難道路（レスキュー道路）として整備されました。

上田崎線の整備以前には、上田崎地区は災害発生時の避難・消防救難活動の際、狭小な道路を通行したり大きく迂回する必要がありました。

このため事故が発生した場合、一刻を争う避難・消防救難活動に支障を来す恐れがありましたが、本路線を整備することによって緊急車両の到着時間の短縮や周辺住民の避難活動の円滑化など、よりスムーズな避難・消防救難活動が可能となりました。



道路改修後の上田崎線

4 インフォメーション

感謝状贈呈 ～吉野ヶ里町長～

- 11月6日、佐賀県吉野ヶ里町庁舎において、江頭正則吉野ヶ里町長に樋道明宏九州防衛局長から感謝状を贈呈いたしました。
江頭吉野ヶ里町長は、九州・沖縄の補給整備を担当する九州補給処と3個のヘリコプター部隊が所在する目達原駐屯地の安定的運用に協力されるとともに、国の安全保障体制の重要性を深く認識され、防衛基盤の整備に多大な貢献をしてこられました。
今回の感謝状は、江頭町長のこれまでの御功績に対し当局の深い感謝の意を表するものです。



江頭吉野ヶ里町長(左)と樋道九州防衛局長(右)



表彰を受ける在日米軍従業員

平成24年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式

- 10月25日、米海軍佐世保基地「ハーバービュークラブ」において、佐世保地区に所在する米軍施設で勤務する従業員の永年勤続者表彰式が行われました。
表彰式は、永年にわたり勤務した在日米軍従業員を表彰し、その労をねぎらうとともに労働意欲等の向上を図ることを目的として日米が共同で主催したもので、今年度は勤続年数30年、20年、10年の合わせて126名の方が表彰されました。

日米交流事業開催のお知らせ

- 九州防衛局における日米交流事業は、米海軍佐世保基地周辺の佐世保市民と米軍人やその家族との交流を深めることを目的に、平成21年度から佐世保市等の協力を得て実施しています。
4回目を迎える今回の交流事業は、前回に続き音楽交流会の開催を予定しています。多くの方々のご来場をお待ちしています。

フレンドシップコンサート2013 ♪ 音楽は世界の共通語 ♪

- 開催日 平成25年2月2日(土)
- 会場 アルカス SASEBO 大ホール
- ★入場無料。ただし、入場にはチケットが必要です。
- ★問い合わせ先：九州防衛局企画部地方調整課 TEL (092) 483-8816

特別ゲスト

大阪府立淀川工科高等学校名誉教諭

航空自衛隊航空中央音楽隊ユーフォニアムソリスト

丸谷 明夫 氏

外圍 祥一郎 氏

"Music is the common language of the world."

Friendship Concert

音楽は世界の共通語 / フレンドシップコンサート2013

日時 / 2013年 2月2日(土)
開演 14:00 開演 14:30
Date & Time - Saturday, February 2, 2013, 14:00 / 14:30
4月1日(日) / 14:00 / 14:30
日本合同演劇団(フジ) 開演 17:00
17:00 Japan Contract Theatre Group
丸谷 明夫 氏特別ゲスト 開演 19:15
Tokyo by Research Institute Arts Theater
Fukuoka Region of 19:15

会場 / アルカス SASEBO 大ホール
Alcaz SASEBO Grand Hall
1-1-1, Sasebo, Nagasaki 859-0101

入場無料
Admission Free
※入場にはチケットが必要です
※入場にはチケットが必要です

特別ゲスト
丸谷 明夫 氏
外圍 祥一郎 氏

主催 / 防衛省 九州防衛局
協賛 / 佐世保市立音楽隊
後援 / 佐世保市立音楽隊
協力 / 佐世保市立音楽隊

申込期限 / 2013年1月21日(内)
★チケットは裏面の申込用紙 または、メールにてお申し込み下さい。
★チケットは裏面の申込用紙 または、メールにてお申し込み下さい。

お問い合わせ先 / 防衛省九州防衛局企画部地方調整課 TEL (092) 483-8816

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
- ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

ご意見・ご感想

TEL 092-483-8813

mail info@kyushu.rdb.mod.go.jp